

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団機械器具置場建設事業			会計	款	項目	大手	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	秋谷 哲夫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市消防団	意図	機械器具置場の計画的な建て替え
事業内容	機械器具置場建設			
事業開始から現在までの状況変化	建築年数が古い順に順次建て替えており、建築後30年を経過したものは3か所となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	工事の進捗率	100		100	%	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	魅力ある消防団活動の一助となる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 建築年数30年を目安に順次建て替えている。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総計(a=b+c)		14,850,200		15,047,400			
事業費(b)(円)		13,335,000		13,650,000			
うち一般財源		13,335,000		13,650,000			
職員給与費(c)(円)		1,515,200		1,397,400			
人役・職員(人)		0.20		0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	防災拠点としての機能を充実させる。	③取り組みの課題	消防団活動の環境整備を積極的に推進する。
②今年度(H25)に実施した取り組み	機械器具置場のスムーズな移転。	④今後の改善計画	建築年数が古い順に建て替える。